

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	徳島大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	多因子疾患克服に向けたプロテオミクス研究		
中核となる専攻等名	医学研究科プロテオミクス医科学専攻		
事業推進担当者	(リダー)松本 俊夫 外14名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>わが国の死亡原因の上位疾患の数多くは多因子疾患に起因し、その克服は21世紀医学の最重要課題である。本拠点では、骨粗鬆症・糖尿病などの代謝疾患、癌転移を主要標的とした腫瘍疾患、アレルギー・膠原病などの自己免疫疾患等、多因子疾患を多角的に取り上げ、統合的な検体・試料の収集・管理、供給体制を確立し、多様な細胞内変化を、最先端の機能ゲノミクス・プロテオミクス技術を駆使し網羅的に解析する。これを通じて多因子疾患における新しい疾患プロテオミクス研究を展開し、病態の解明と新たな診断・治療法の開発を図る。本拠点の形成により臨床・基礎研究者が直接問題点を共有し、人材、知識、技術、装備等の資源の集約による集学的アプローチを可能とする。こうして多因子疾患の本態へと迫るわが国唯一の疾患プロテオミクスの統合研究教育拠点を形成し、21世紀の生命科学・医学研究をリードする優れた人材の育成を図ることが本拠点形成の目的である。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>多因子疾患克服に向けてのプロテオミクス研究の拠点形成は、時代の要請に沿った提案であり、必要な資質を備えた研究者を組織化している。現在、医学系領域ではプロテオミクスの方法論の導入が必須となっており、本拠点による新しい技術の開発も含めた一層の普及が期待できる。実績のある分子酵素学研究センターと最近設置されたゲノム機能研究センターとの密な交流を基盤に、世界に発信しうる成果の挙がることを期待する。</p>			